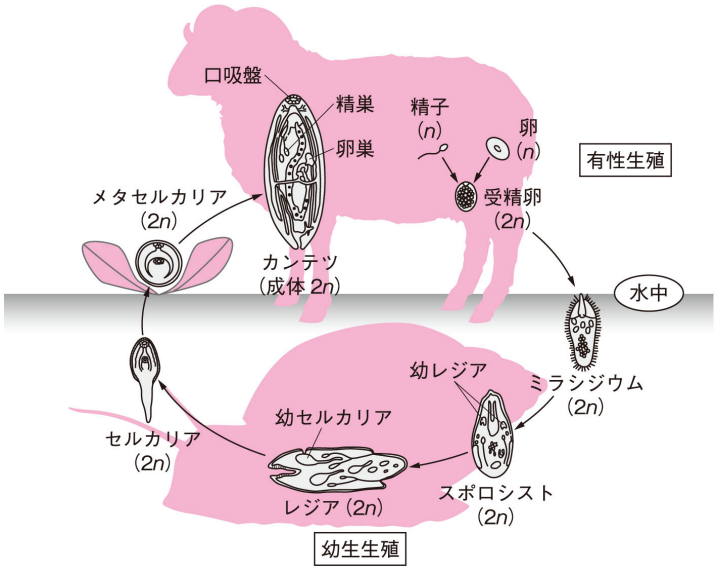
『新・生命科学シリーズ 動物の性』正誤表

（守　隆夫 著，裳華房 刊）

（2012/2/20 現在）

次回修正予定　（誤→正）

頁	行・見出番号	誤（修正箇所）	正（修正・加筆方法）
21	図 2.1　説明文の 1～2	カメノテはおそらく動物の中で最も長い	カメノテは体のわりに長い
24	下から 7	性をもっている	性発現様式をもっている
	下から 5	思われる	思われている
30	下から 14，4	カンテツ	ハイキュウチュウ
	下から 13，11	ミラキジウム	ミラシジウム　［3 箇所］
	下から 12，11	スポロキスト	スポロシスト
	下から 10	レディア	レジア　［2 箇所］
	下から 9，8	ケルカリア	セルカリア
	下から 7，6～5	メタケルカリア	メタセルカリア
		（図 2.3）　の位置を下から 15 行目末に移す．	
31	図 2.3　説明文 4～6 行目	この間に第一宿主で…［中略］…第二宿主が最終宿主である	この間は中間宿主である巻貝などに寄生している．やがて中間宿主から出たセルカリアは水草などに付着し，メタセルカリアと呼ばれる成熟した幼生となって待機し，宿主が最終宿主である
42	下から 16，8	ライオニー女史	ライオン女子
50	5，7	ライデッヒ細胞 ※索引（115 頁）も修正する．	ライディッヒ細胞
52	下から 10，9		
62	下から 7		
72	下から 11～10	未成熟魚雄と幼魚の集団を	未成熟雄と幼魚で集団を

図の修正	
	31 頁　図 2.3